@cafeでは大森にまつわる「ひと」をクローズアップ。編集部がその素顔に迫ります。

03年の創設以来、預かり保育、派遣・出張保育、保育サポーターの育成やイベントの主催など、さまざまな方法でまちの中での「子育て・子育ち」を手助けしてきた「ふれあいの家—おばちゃんち」。ほがらかな笑顔でみんなをひっぱっていくのは、「みこちゃん」の愛称で親しまれている渡辺美恵子さん。「おばちゃんち」の活動の歴史と現在、そして渡辺さんの素顔に迫る。

（取材・文＝海老澤圭＋たかだあや）

目の前にいる「困った」に対応する

好奇心旺盛で自由な発想のできる「みこちゃん」は、少女のようにかわいらしい「おばちゃん」だ

【撮影＝八巻里絵子】

NPO法人ふれあいの家—おばちゃんち 代表理事

わたなべ・みえこ

第23回 渡辺美恵子さん

DATA
NPO法人ふれあいの家—おばちゃんち
東京都品川区北品川 2-28-1
TEL/FAX　03-3471-8610
http://obachanchi.org/

@小さな地域の児童館「おばちゃんち」

商店街を歩いているとふと目に入る、子どもをおぶったおばちゃんの姿。忘れ去られた昔日の幻かと思いきや、そうではない。「おばちゃんち」では「ありふれた」光景だ。

渡辺さんは、長らく中野区で児童館職員として働いていたものの、家族の介護を理由に早期退職。いざ仕事を辞めてみると、地元・品川には何もつながりがないような感覚すら覚えたという。「退職したら、小さな児童館を作ろう」かつて仲間と語りあっていた夢。渡辺さんが、誰もが気軽に集える自由な居場所、みんなで子どもの成長を見守り、支え合うようなあたたかい雰囲気——そんな近所の「おばちゃんち」を地元でつくりたいと考えるまでに、それほど時間はかからなかった。児童館時代の友人やさまざまな縁でつながった仲間に声をかけ、03年にNPO法人を設立。

最初に取り組んだのは「ホットほっとHOT」。さまざまな世代が一堂に会し、食事も遊びも一緒に楽しむイベントだ。「子育ては、見える場所でやらなくちゃ」と渡辺さん。だから、周辺住民の通り道で、三方が開けた公園、北浜こども冒険広場で実施。何をしているのか気になってのぞいていた近所のおばあちゃんが、いつの間にか常連になっていることもあるという。各人が無理せず「できることを、できるだけ」する、でも「決めたら休まずやる」が信条。創設以来毎月1回の開催を続けている。

旧東海道に面する「品川宿おばちゃんち」

次いで大崎のマンションの一室で、子どもをスタッフに見てもらいながら、親同士は楽しくおしゃべりやお茶を楽しむ、憩いの場「みこちゃんち」を始める。楽しいだけでなく、ベテランの保育士や栄養士からは子育てアドバイスも聞ける。親はひと時「日常」から解放され、新たな気分で「日常」へと帰っていく。

最初はどれも手弁当ではじめた活動だったが、その評判と時代のニーズの高まりとともに品川区からの委託事業に成長し、預かり保育「ほっぺ」と、出張・派遣保育「えくぼ」事業へと展開。商店街の空き店舗対策とも結びつき、旧東海道沿いに「子育て交流ルーム品川宿おばちゃんち」をオープンするに至った。子どもの身長に合わせて一つ一つ考え抜かれた設備に、ぬくもりのある手作りのおもちゃ。こんなところにも思いやりがあふれている。

一時預かり「ほっぺ」はいつもにぎやか

保育はベテラン保育士と、「おばちゃんち」主催の保育サポーター講座の卒業生たちが担当。いずれも一時間から利用が可能で、「他の一時保育は予約がとりづらいけど、『おばちゃんち』は駆け込みでも、会員であればいつでも受け入れてくれるから助かる」「子育ての先輩に見てもらって安心感がある」との利用者の声も多い。スタッフもまた、「私たちも子どもから元気をもらうのよね」と実に幸せそうに働いている。帰り際スタッフに「また遊んであげるね！」といって帰る子どももいる、とみんなで大笑い。こんな信頼感の中でこそ、子どもも、大人も豊かな気持ちが育まれていくのだろう。

@幸せの連鎖

頼ったり、頼られたり。一参加者が、不思議と今度は運営する仲間になっていく。「おばちゃんち」にかかわったひとたちの環は、周囲にあらたな「おばちゃんち」活動となっていくつも実を結んでいる。そのひとつ、7月9日には「品川子育てメッセ2010」が実施される。品川区内外の育児に役立つさまざまな情報を、子育てに奮闘中のママやパパたちに伝えたい、というコンセプトではじまったイベントも3回目。前回は三五〇人もの来場者があったという。

次々と湧き上がるアイデアの源は、「目の前にいる『困った』に対応する」ことだという。そんな姿勢が、「おばちゃんち」からまちじゅうに波及してゆけば、「おばちゃんち」の目指す、大人も子どもも世代を越えてふれあい暮らせるようになる日は、そう遠くはないはずだ。

みこちゃんの、初対面とは思えぬ親しみやすさ!

「行政職員の立場だったり、家族のことでかかりきりのときははがゆさもあったけど、今は夢がかなってる。いつまでこんな幸せが続くのかしら」とおどける。「おばちゃんち」の活動は、地域の人々に幸せを与えるだけでなく、渡辺さん自身の毎日の充実にもつながっているという。

今後も、「ぽつぽつと、『おばちゃんち』仲間が増えるといいな」と渡辺さん。あくまで物腰やわらかく、でも確実に。これからも「おばちゃんち」は地域を支え、幸せの連鎖する、心の通い合う「まちづくり」を続けてゆく。

［編集後記］■景気がよくなってほしいなぁ!という願いを込めて1面はケーキ特集です。「ケーキ対策」というタイトルを主張しましたが女性陣からあえなく却下（泣）。■パティスリー稲垣のロールケーキは、大森西2のこらぼ大森2階「おおたOrganicFarm」でもよくメニューにでてます。私も好きな大森の逸品です。（お）

[STAFF]
Publisher / Editor in cheif　鵜飼 修
Art Director / Editor /Advertising　たかだあや
Writer　森本道子(1)
山田智士(2)
髙橋陽子(3)
海老澤圭(4)
Photographer　八巻里絵子
Illustrator & DTP Operator　池田英子
高道智子

大森まちづくりカフェ 第21号 2010年はる号
[発行] 2010年4月1日(年4回 季刊)
[配布] 大森を生活圏とする地域に15,000部
[発行] 特定非営利活動法人大森まちづくりカフェ編集部
〒143-0024 東京都大田区中央4-4-16
tel/fax：03-5935-7881 アンケートの宛先はこちら！
email：office@oomori-cafe.com
[印刷] 有限会社三平印刷所
東京都品川区大崎 1-10-1☎ 03-3493-4911
タウン誌ネットワーク Unyo! http://www.u-nyo.com/
次号は2010年7月1日発行予定です

4面のご案内 ひと
まちで出会った、頑張っているひとの素顔に迫ります。次はあなたかも…？

バックナンバーはウェブで！
22号 ● 2010年1月
菅野明さん
[一番鳥　2代目店主]
21号 ● 2009年10月
阿部由起子さん
[子ども交流センター職員]
20号 ● 2009年7月
DaiGo!Lowさん
[シンガーソングライター]
19号 ● 2009年4月
牟田静香さん
[NPO法人男女共同参画おおた理事長]
www.oomori-cafe.com

あなたの住宅ですぐできる!
地球温暖化防止
W1,700×H900 ¥29,700～（工事費別）
窓を二重に!
工事はお手軽!*
室内の窓枠にもう一枚窓を付ける工事です
１枚ガラスの窓とインナーサッシを装着（二重サッシ）後の窓では、装着後に約20%の冷暖房費を節約できます。**
さらに･･･
結露防止!
防犯性能アップ!
防音性能アップ!効果も
国の補助金も利用できます!***
詳しくは･･･ http://www.inner-com.co.jp/
株式会社インコム
Inner Control System
Incom
住所：〒140-0011東京都品川区東大井3-7-5
電話：03-3765-4300　FAX：03-3768-1050
メール：webmaster@inner-com.co.jp
営業時間：AM8：30～PM5：00
＊窓数枚であれば、工事は１日で終了することも可能です（調査・段取りは別）＊＊効果は設置状況により異なります＊＊＊予算に限りがあります

私たちは大森まちづくりカフェを応援しています。
Yayoi BLDG. Co.,Ltd.
■大田区西の不動産賃貸業
株式会社やよい建物
東京都大田区仲池上1-10-3 TEL 03-5700-1685
最新物件情報はホームページ
http://www.yayoi-bldg.com/
やよい建物 検索
ブログも好評 「大田区西で暮らす」 http://blog.goo.ne.jp/fureai2006/

KASUGABASHI GOLF CLUB
環七春日橋ゴルフ練習場
Golf 7
身体にやさしく、心にもやさしい練習場です。
入場料 照明料 いつでも無料
www.kasugabashi-golf.com
大田区大森西 1-10-23 TEL 03-3761-6761
営 平日 9:00（土日祝 8:30）～21:30 休 無休 年末年始を除く